

■東京シンデレラマイル（SIII）アラカルト（過去15年の分析）

※記録は令和4年12月16日時点

■2番人気馬の3着内率が高い

単勝1番人気馬は4勝、2着2回、3着1回で、3着内率が46.7%、単勝2番人気馬は3勝、2着6回、3着2回で、3着内率が73.3%、単勝3番人気馬は1勝、2着2回、3着3回で、3着内率が40.0%となっている。施行回数がまだ少ないとはいえ、現在のところ1番人気馬よりも2番人気馬の方が3着内率は上だ。

■3番人気以内の馬が1～2着を占めた例は6回

過去15回のうち8回は、単勝3番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝3番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は6回あるものの、単勝3番人気以内の馬によるワンスリースリーフィニッシュ決着はまだない。

■高齢馬の健闘が目立っている

馬齢別の勝利数を見ると、3歳が1勝、4歳が3勝、5歳が6勝、6歳が3勝、7歳が2勝となっている。5歳以上の馬が全体の7割以上を占めている点に注目したい。

■外国産馬は現在のところ1勝どまり

外国産馬の優勝例は第4回（平成22年）のザッハーメインのみである。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、3勝の本橋孝太騎手が単独トップ。2勝の的場文男騎手、御神本訓史騎手、森泰斗騎手が2位タイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録も「3」

調教師別の勝利数を見ると、3勝の小久保智調教師が単独トップ。2勝の出川克己調教師が単独2位となっている。

■ 枠番別・馬番別の勝利数に大きな偏りはなし

枠番別の勝利数を見ると、7枠（4勝）が単独トップ。1枠（3勝）が単独2位、2枠と8枠（各2勝）が3位タイとなっている。なお、未勝利の枠番はない。また、馬番別の勝利数を見ると、2番と14番（各3勝）がトップタイ。残る馬番は1勝以下となっている。ちなみに、未勝利の馬番は3番、5番、8番、10番、13番である。